

科目名	合同研究ゼミナール			選択必修	必修
担当教員	安酸史子、西片久美子、石崎智子、志賀加奈子、原玲子、志賀くに子、高田由美、阿部範子、新田純子、鎌倉やよい、百瀬由美子、山田聡子、野口眞弓、大西文子、東野督子、森田一三、長谷川喜代美、カルデナス暁東、小林尚司、田村由美、中信利恵子、百田武司、小松浩子、櫻本秀明、高橋清美、永松美雪、姫野稔子、本田多美枝、柳井圭子				
科目区分	演習	単位数	1 単位	オフィス アワー	教員一覧参照
開講時期	1年次 後期	時間数	30 時間		
■ 授業の目的 学生が学籍を置く大学での個人指導と、5大学の学生・教員が一堂に会して行う集合教育を組み合わせることにより、異なる専門性の観点から学生が現段階で考えている研究について、学生相互または教員とのディスカッションにより多角的に検討し、実現可能な研究に向けての方向性を見出せるよう教授する。					
■ 授業の概要 学生個々が現段階で考えている研究テーマあるいは、関心のあるテーマに関する内容、方法、意義等について学生が学籍を置く大学で個人指導を受け、その成果を集合して、5大学の学生・教員の前で発表することにより、学生が学籍を置く大学での個人指導がさらに深まり、博士論文作成に向けた糸口の発見や研究を遂行する過程での課題が抽出されるなど、今後の方向性が明確となる。また、交流の場をもつことで、博士論文作成に引き続き取り組む上での研究者としての資質を培う。					
回	授業内容及び方法				担当
	【授業の進め方】 6～13回は、2日間の日程で、5大学が共同開催する。その前後は、主研究指導教員からの指導を受ける。 1～5 研究テーマあるいは関心のあるテーマに関する発表にむけた資料作成(各大学) 6～13 研究テーマあるいは関心のあるテーマに関する内容のプレゼンテーションとディスカッション 14～15 研究テーマあるいは関心のあるテーマに関する内容の再検討(各大学)				
■ 準備学習 授業の内容を踏まえ、次回の授業までに資料を作成しておくこと。					
■ 教材・テキスト 適時、紹介する。					
■ 参考書 授業中に、適時、紹介する。					
■ 成績評価の方法及び採点基準 発表に向けた準備状況(30%)、プレゼンテーション(30%)、討議内容および討議への参加状況(40%)で総合的に評価する。					
■ 教員からのメッセージ 各担当教員が設けているオフィスアワーやメール等を活用するなど、主体的な取り組みを期待する。					